

<b>カウンセリングⅡ</b>			科目コード	<b>FG2683</b>
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
<b>1</b>	<b>S(講義)</b>	<b>1</b> 年以上	<b>中村 恵子</b>	

## 科目の概要

### ■スクーリングで学んでほしいこと

カウンセリングの目的は、問題解決にあります。カウンセラーは、質問とあいづちによって面接の流れをコントロールし、問題解決をマネジメントします。本講義では、基本的なあいづち技法と問題の本質にフォーカスする問題焦点化技法を学び、面接援助の土台づくりを目指します。

### ■到達目標

- 1) 基本的あいづち技法を会話に活用できる。
- 2) 問題焦点化技法を説明できる。
- 3) 問題焦点化技法を使うことができる。

### ■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	カウンセリングの意義と役割	方法論開発の歴史と背景
2	基本的傾聴技法	あいづち技法の解説と演習
3	基本的介入技法	問題解決技法の解説と演習
4	集団援助技法	対人関係ゲーム理論
5	心理的侵入度の調整	対人関係ゲーム演習
6	問題焦点化技法の理論と方法	基礎技法の解説
7	問題焦点化技法の演習	基礎技法の演習
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

### ■講義の進め方

講義と演習を中心にグループで学習を進めます。

### ■スクーリング 評価基準

授業への参加態度30% + スクーリング試験70% (持込可、論述式)

### ■スクーリング時の教科書

---

スクーリングにあたって、教科書は使用しません。

### ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

---

講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

### ■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

---

授業で提示される参考図書を学習してください。

### ■卒業までに身につけてほしい力との関連

---

心理実践力を身につけるため、とくに、「総合的な人間理解力」「根拠に基づく情報発信力」「共感と自己尊重に基づくコミュニケーション力」「自己理解に基づくセルフコントロール力」「集団理解に基づく対人調整力」を身につけてほしい。